

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活支援技術Ⅱ Independent Living Skills Ⅱ		1年	前期1 / 2	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉養成課程の学生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
石川幸子	福祉棟2階	月・火・木・金（授業時間以外）		授業中に指示します
授業の概要				
日常生活の基本行動となる移動の意義や目的、利用者のアセスメントについて学習し、移動が障害されることによる影響を理解する。そして、利用者の状況に応じた、安全で的確な移乗、移動技術を習得する。また、適切な福祉用具の活用により、生活領域の拡大および自立に向けた介護について考えていく。				
授業の目標				
①日常生活における移動の意義を理解し、障害されていることの不自由さを説明できるようにする。 ②基本的な移乗・移動技術を習得できるようにする。 ③移動に関するアセスメントを説明できるようにする。 ④自立支援に向けた福祉用具を適切に選択し活用できるようにする。				
授業の方法				
演習科目であるが講義も併用する。演習では、具体的かつ実践的な技術を習得するため、介護者役だけでなく、利用者役も行う。				
学習の成果（学習成果）				
①日常生活における移動の重要性を説明することができる。 ②移動に関する基本的な技術を習得し、福祉用具の適切な活用により、日常生活の拡大を図ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、成績評価の方法・受講時の留意点等）、日常生活における移乗・移動の意義と目的			
第2回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法①	基本体位、良肢位	【演習】	
第3回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法②	安楽な体位	【演習】	（レポート1 提出：1週間後）
第4回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法③ その1	ボディメカニクス、上方移動と水平移動、体位変換、端座位 【演習】		
第5回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法④	上方移動と水平移動、体位変換、端座位	その2	【演習】
第6回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑤ その1	端座位、移乗	一部介助・全介助（車いす、ストレッチャー） 【演習】	

第7回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑥ その2 【演習】	端座位、移乗 (車いす、ストレッチャー)
第8回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑨ 【演習】	車いす (レポート2 提出：1週間後)
第9回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑦ 【演習】	歩行補助具による介助の実際(杖、歩行器等)
第10回目	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑧ 【演習】	片麻痺体験
第11回目	移乗・移動の技術に関するまとめ 【演習】	
第12回目	移乗・移動に関する生活支援技術習得の確認・振り返り 小テスト【実技試験】	
第13回目	褥瘡とその予防 同一体位による弊害、褥瘡の原因と予防	
第14回目	移乗・移動に関するアセスメント	
第15回目	まとめ、他職種との連携、福祉用具の活用、生活領域を拡大するための工夫	
事前・事後学習	こころとからだのしくみで学んだ人体の構造や機能と関連付けて演習に臨むこと。技法の不安点は自主練習に取り組むこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	マニュアルを活用し自主的にメモしている。演習時は身じたくを整え、積極的・自主的に参加している。指導を受け入れ技術を習得しようと努力する姿勢がみられる。
レポート	20%	1：安楽な体位 S：資料をもとに具体的にまとめている。 2：演習の振り返り S：演習内容を踏まえ、利用者役、介護者役両面からの学びを記述している。(各10%)
調査報告書		
小テスト	20%	技術の確認として、第12回目に「車いすへの移乗」の実技テストを行う
試験	40%	知識の確認 (自筆ノートの持ち込みを許可する)
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
①教科書：介護福祉士養成講座 第7巻 「生活支援技術Ⅱ」 中央法規 ②生活支援技術マニュアル		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験(職種：介護福祉士、職歴：通算13年) 講義・演習とも積極的に取り組み、演習時は身だしなみを整えること。また、自己練習をし、技術の向上に努めること。 小テストについては、他科目との兼ね合いから、変更することがある。 クォーター科目の後半であり、「こころとからだのしくみⅠ」終了後から始まる。		